

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社第57期第1四半期報告書「ANA VISION」をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当第1四半期においては、国内線運賃値上げを実施しましたが旅客数は前年同期比で2.3%増加し、反日デモ以降低調であった中国線の旅行需要の回復などにより国際旅客事業は好調に、貨物事業も堅調に推移致しました。

燃油費及び燃料税は、前年同期の400億円から498億円へと約25%増加しましたが、その他の費用の増加を最小限にとどめ、第1四半期としては過去最高の営業利益、純利益となりました。

今年度下期からは、成田 - シカゴ線を5年ぶりに再開します。また、貨物専用機では当社初の米国線を開設し、日中航空交渉の合意を受け、中国線についても旅客便・貨物便双方において充実を図ります。

今回は特集でCSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)を取り上げましたが、私たちANAグループは、航空輸送サービスもCSRであり、安全で快適な空の旅を提供し続けることが何より大切な社会への責務であると考えています。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧を賜いますようお願い申し上げます。

2006年9月

代表取締役社長

山元 肇生

